

岩手県保健福祉部（障がい保健福祉課 子ども子育て支援室）主催

令和5年度第2回

難聴児支援研修会

開催日：令和5年12月25日（月）

会場：いわて県民情報交流センターアイーナ 803 会議室（Zoom ライブ配信）

令和5年度第2回難聴児支援研修会開催要領

- 1 目的
医療・保健・福祉・教育等、難聴児支援に携わる関係者が、各年齢段階の難聴児支援の現状と方向性を継続的な研修により理解するとともに、多職種連携による本県難聴児支援の一層の推進を図る。
- 2 主催
岩手県保健福祉部（障がい保健福祉課 子ども子育て支援室）
- 3 共催
岩手県教育委員会、岩手医科大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科、同医学部遺伝臨床学科
- 4 主管
岩手県立療育センター
- 5 開催日
令和5年12月25日（月）13:30～15:30 会場及びZoomライブ配信
令和5年12月28日（木）～令和6年1月31日（水） YouTube オンデマンド配信
- 6 会場
いわて県民情報交流センターアイーナ 803 会議室
- 7 対象
県民一般、各市町村及び保健所母子保健担当職員、障がい福祉担当職員、児童福祉担当職員、医療関係者、教育関係者、保育関係者

日 程

開 会 13:30

1 前説 13:35～13:45

「難聴の種類や頻度について」

発表者：小林 有美子 氏（岩手医科大学医学部遺伝臨床学科 医師）

2 講演 13:45～15:10

「手話やろう者の世界に学ぶ育児、コミュニケーション、対話」

講 師：松崎 丈 氏（宮城教育大学教育学部特別支援教育専攻 教授）

座 長：石川 敬 氏（元 岩手県立盛岡聴覚支援学校長）

質疑応答 15:15

閉 会 15:30

【講師紹介】

松崎 丈（まつぎき じょう）先生

1977年・広島生まれ。

先天性風疹症候群による重度難聴（両耳共 110 dB）。手話と文字で意思疎通。宮城教育大学で中学校・高等学校教諭一種美術免許状、聾学校教諭専修免許状を取得。

東北大学大学院教育学研究科博士後期課程を修了し、博士(教育学)を取得。博士論文で東北大学総長賞を受賞。



宮城教育大学教育学部教授、しょうがい学生支援室副室長、教職大学院兼任。

専門は教育心理学・特別支援教育（主に乳幼児相談から高等部教育までの聴覚障害・ろう重複障の教育支援）・コミュニティ心理学（主に特別支援学校におけるオンサイト研修型学校コンサルテーション）・障害学生支援。

主な書籍では、『特別支援教育への招待』（分担執筆・教育出版 [2019]）、『聞こえなくても大丈夫！－人工内耳も手話も』（分担執筆・ココ出版 [2022]）、『「LISTEN リッスン」の彼方に』（分担執筆・論創社 [2023]）、『障害から始まるイノベーション』（分担執筆・北大路書房 [2023]）、『聴覚障害×当事者研究』（編著執筆・金剛出版 [2023]）ほか。

学生教育および研究活動、学校支援以外では、国際連合防災プラットフォーム会合（スイス・ジュネーブ）で『東日本大震災における聴覚障害者と ICT の問題』の講演で提言し「仙台防災枠組 2015-2030」に盛り込まれる、国際難聴者会議（ノルウェー・ベルゲン）で難聴・中途失聴と防災に関する講演を行う、4回にわたるアメリカの大学の調査研究から日本の聴覚障害学生支援ネットワーク構築を推進する、学術レベルに対応できる手話通訳者および文字通訳者の技術向上に関する研修講師を担う、大阪生野聴覚支援学校児童交通死亡事故裁判で教育分野の専門家として当該児童の言語力・学力に関する意見書を提出する、など各分野への貢献にも取り組んでいる。

【座長紹介】

石川 敬（いしかわ たかし）先生

元 岩手県立盛岡聴覚支援学校長

岩手県の特別支援学校に 36 年間勤務（うち 25 年間聴覚支援教育に関わる）岩手大学教育学部で前期（4～8 月）非常勤講師として「聴覚障害教育総論」を担当

